

## ■ ■ 産技連から感謝状を授与されました ■ ■

1月21日に第65回産業技術連携推進会議総会が開催され、活動に積極的に取り組んだ公設試機関に対し、感謝状が授与されました。

今回は地域オープンイノベーション力強化事業への貢献として、ナノテクノロジー・材料部会高分子分科会で共同研究の幹事を務めた8機関(当センターを含む四国・九州ブロック7機関と国立研究開発法人 産業技術総合研究所)に授与されました。



## ■ ■ 令和6年度県勢発展貢献表彰を受賞しました ■ ■

新技術・新製品の開発・普及において顕著な功績をあげたことが高く評価され、当センターのシラス研究開発グループが令和6年度県勢発展貢献表彰(グッドジョブ賞)を受賞しました。

シラス研究開発グループは乾式比重分離により、シラスを全量活用する技術を確立しました。分離した火山ガラス質と軽石質は、粉碎することで火山ガラス微粉末(VGP)となりコンクリート用混和材として、結晶質であるJIS砂は、海砂代替として利用することができます。また、VGPを活用した低炭素型コンクリートが全国で初めて県の公共事業で施工され、本技術の社会実装に向け大きく前進しました。

セメントの55%をVGPに置き換えた低炭素

型コンクリートは、従来のコンクリート製品に比べ二酸化炭素排出量を約50%削減できることから、インフラ・建設分野における二酸化炭素の排出量削減に寄与します。また、海砂代替による環境負荷軽減、県内における企業立地、県内企業の関連製品の開発等による産業振興が期待できます。



## ■ ■ 取組事例報告会を開催しました ■ ■

3月18日に県庁18階かごゆいテラスで「桜島溶岩をまとった虹色に輝く薩摩錫器」と題して、取組事例報告会を開催しました。

当センターの技術支援により薩摩錫器工芸館(株)から商品化された薩摩錫器「彩光」について、その研究開発から商品化までの経緯を報告しました。同社の岩切洋一専務からは、伝統的工芸品の魅力や発売後の反響などをご紹介いただきました。

40名の参加があり、参加者は見る角度によって色が変わる様子を実際に手に取って確かめていました。



# 機器紹介

令和6年度に公益財団法人 JKA の補助金により整備した機器を紹介します。

## ●ガスクロマトグラフ質量分析装置

【概要】サンプルを加熱し、蒸発した際に発生するガスを分析することにより、サンプル中に含まれる揮発成分を分析する装置です。

【メーカー】アジレント・テクノロジー(株)

【型式】5977 GC/MSD  
8890 GC System

【仕様】検出感度 S/N 5,000:1  
(1pgOFN、He 時)  
オープン制御範囲室温 +4~450℃  
サンプルを100検体分セット可能



# お知らせ

## ■ ■ 設備使用料・手数料の新設 ■ ■

令和7年4月から、使用料・手数料を新設しました。主な内容は、以下のとおりです。

《設備使用料/新設》

- ・ガスクロマトグラフ質量分析装置  
2,630円/時間
- ・水分活性測定装置  
460円/時間

《手数料/新設》

- ・高速液体クロマトグラフ測定  
(前処理を要しない) 3,990円/件  
(前処理を要する) 7,150円/件

- ・ガスクロマトグラフ測定  
(前処理を要しない) 4,150円/件  
(前処理を要する) 7,310円/件
- ・赤外吸収スペクトル測定  
(前処理を要しない) 2,050円/件  
(前処理を要する) 3,420円/件

※詳しくは、ホームページをご覧ください。



<https://www.kagoshima-it.jp/info/r7site/>

## <表紙の説明>

「ものづくり DX セミナー」の開催風景です。ものづくりのデジタル化を推進するため、定期的を開催しています。ものづくりに関わる方は誰でも参加できます。



## 鹿工技ニュース No.149

2025年4月号(年4回発行)

<https://www.kagoshima-it.jp>

【発行元/問い合わせ先】

鹿児島県工業技術センター 鹿工技ニュース等編集委員会  
〒899-5105 鹿児島県霧島市隼人町小田 1445-1

